

のき うごき

上島町議会

平成20年

第1回定例会

平成20年上島町議会第1回定例会が、3月10日に招集され、51議案が提案されました。この日の本会議では、はじめに上村町長からの行政報告があり、一般質問の後、28議案の審議が行われ、休会に入りました。

18日に再開された継続本会議では、23議案の審議と一般会計及び特別会計の当初予算の説明が行われ、第1回定例会は閉会しました。なお、行政報告及び各議案の主な内容、議決結果は次のとおりです。

上村町長の行政報告

春の装いと共に、大きな喜びと少しの寂しさが入り交じった旅立ち、そして新たな出会いに希望溢れる時候になってまいりました。

本日は、平成20年上島町議会第1回定例会を招集いたしましたところ、全員の出席をいただきまして誠にありがとうございます。

新春を迎えた小中学校も3学期が始まり、長年の念願であった魚島地区での学校給食がスタート致しまし

た。私も小中学校時代の給食時間の楽しさを思い起こすと、給食とは単なる食事の提供ではなく、子供たちが授業以外で数多くのことを学ぶ機会でもあり、食育としての効果があるものと期待しています。

町村合併後、生名地区・魚島地区と新たに給食を開始し、上島町全域で給食完全実施ができるようになったことは、「心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり」という教育環境の充実にもつながり、改めて町民の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

また、愛媛県が主催するボランティア・ウインターキャンペーンにおいて、今回も県下で上島町が参加率第1位となり、愛媛ジャーナルでの加戸知事への特別インタビュー記事の中にも書かれています。直接知事から感謝の言葉をいただきました。

私は「慈愛の心」と「仁の精神」を品格豊かに身に付けている上島町民の皆様を誇りに思います。

今後とも地域のため、困っている人達のために「島の温かさ」を伝承していただきますようお願い申し上げます。

さて、平成20年度の地方交付税は、公債費の増や社会保障関係費の自然増等により、大幅な財源不足を招いている国の財政状況下において、地方の厳しい実態に配慮し3年ぶりに増加されることになっており、上島町にとってもわずかな増が見込ま

れます。

さらに、地方税の偏在是正策について、法人事業税の一部を国税に改めた上で地方法人特別譲与税として都道府県に配分する方向が固まったことを受け、偏在是正効果となる4000億円を財源とする地方交付税特別枠として「地方再生対策費」が新設されています。この配分割合は都道府県が1500億円、市町村が2500億円となり、面積のほか第1次産業就業者や高齢者の人口比率、市町村ではこれに加え耕地や林野面積などの基準に算定し、財政状況の厳しい地域に重点的に配分されることになっており、交付税の依存が大きい本町にとっては、大きな後押しになります。

国民の関心事である租税特別措置法改正案の道路特定財源暫定税率延長については、「つなぎ法案」の提出や取り下げ等「ねじれ国会」の下、混乱していますが、上島町にとって「ガソリンが25円安くなる」との言葉は耳触りが良いだけで、短絡して結論に導く主張であります。平成17年度予算に基づく現在の負担割合による試算によると、暫定税率が廃止された場合の上島町道路事業への影響額は、町直接の税収をはじめ町内県道分の県負担や国負担を含めると概算で年間10・8億円であり、それが本則税率に戻ると5・2億円、48%減という数字が出ています。この結果は当然にその影響を受け

て上島町の社会保障費や教育費など、すべての予算を削減する要因になります。

道路整備が遅れ、車両のすれ違いができない町内幹線道路問題を解消する為、更には町民の念願である上島架橋全通のためにも、上島町は、道路特定財源が道路を作るための「目的税」として創設されている以上、今後も暫定税率維持を主張し続ける必要があります。

愛媛県の平成20年度一般会計当初予算は7年連続のマイナス、19年度の骨格予算である当初予算を政策的に肉付けした同年度6月補正を約198億円下回る超緊縮型となるなど、厳しい財政運営を強いられている状況にあります。

しかし、19年度に引き続き大幅増額継続事業として「新しい地方自治の確立」を目的とする上島架橋整備事業費が18億6505万円という大型予算で計上されており、弱い地域に適切な対応をしていただいている加戸県政に、改めて敬意を表し感謝を申し上げます。

上島町の平成19年度当初予算編成時には12億9000万円もの財源不足が生じましたが、20年度の当初予算においても12億7000万円の基金繰り入れを余儀なくされております。その要因は、少子高齢化等による町税などの自主財源率の低さがあるが、基金繰入金を除いた実質の自主財源の割合は22・8%にすぎ

ず、国や県に依存している体質に変わりはなく、財政運営上極めて弾力性が乏しい状態が続いています。

ただ、平成20年度の上島町町税収入見込み6億5000万円の内、法人住民税については、対前年度比23.2%の伸びを示しております。これは、造船振興計画等による造船関連企業の影響によるもので、上島町にとっても明るい兆しであり、引き続き造船振興・産業振興に対する行政の側面支援を行うことで、大きな効果をもたらすものと考えています。

支出においては、行政改革大綱や集中改革プランに掲げた職員削減による人件費の抑制をはじめ、18年度の決算状況や監査での指摘による経常的な物件費等の原則8%削減等、経費の効率化や積極的な節減に努めた編成としておりますが、上島町にとって必要不可欠な施設整備である立石港整備事業・公営住宅整備事業・町道改良事業さらには、産業振興のための造船用地造成工事、教育環境整備による岩城給食センター建設事業などの投資的経費の増大や、制度改正に伴う後期高齢者医療制度経費の新規計上・補償金なしの繰上償還、あるいは岩城スクールバス更新・立石会館解体工事・久司浦集会所新築工事や、まちづくり懇談会による地区要望の予算化等により前年度比4.9%の増となりました。

上島町の収支については、長期的な財政計画を作成しており、愛媛県

が自治体財政健全化法の解説の中で、県内市町は自治体財政の健全度評価について、破綻状態の「財政再生団体」に陥る自治体はなく、県内市町の財政状況は比較的健全との見解を示しています。

しかし、厚生労働省が市町村により運営されている国民健康保険で、2006年度の医療給付費が全国平均を大幅に上回り医療費抑制改革の策定を義務付けたのは、全国で84市町村、愛媛県では四国中央市と上島町であると発表し、また今回の上島町補正予算にも反映しているように、本町の医療費は大幅に膨らんでおり財政を圧迫しています。

今後は「安定化計画指定市町村」として3月末までに具体的な目標を定め、医療費抑制計画の提出等により適正な予算執行の義務があるように、上島町は今後とも身の丈にあった支出を計画的に行う必要がありますので、町民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

先日、「ふるさとCM大賞えひめ08」において上島町の作品が第1位の大賞を受賞しました。そのテーマは「ご飯だけもって」でありますが、内容については、年間200回のCM放映権を獲得しましたので、楽しみに見つけてください。

このCMをご覧になり「ご飯だけもって」上島町を訪れる方も増えると思いますので、町民の皆様には「おもてなしの心」で温かく迎えて

いただきたいと思います。

私は、町外から数多くのお客様が交流に訪れ、上島町の各地域が「共に栄え」「発展」することを経済の目標に、「正直は最上の政策である」としたワシントンの言葉を政治の規範として、行政運営に全力を尽くしてまいりたいと考えておりますので、今後とも引き続きよろしくお願い申し上げます。

議案の主な内容及び議決結果

【第1回定例会】

条例議案

■上島町職員の自己啓発等休業に関する条例

地方公務員法に自己啓発等休業制度が創設されたことに伴い関係規定を整備するもの。
— 原案可決 —

■上島町後期高齢者医療に関する条例

健康保険法等の一部を改正する法律により関係規定を整備するもの。
— 原案可決 —

■上島クリーンセンター条例

上島クリーンセンターの完成に伴い、新たにその設置条例を制定するもの。
— 原案可決 —

■上島町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、関係規定を整備するもの。
— 原案可決 —

■上島町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、関係規定を整備するもの。
— 原案可決 —

■上島町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

上島町特別職報酬等審議会から、現行の給料額見直しの答申を受け、関係規定を整備するもの。
— 原案可決 —

■上島町教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

上島町特別職報酬等審議会から、現行の給料額見直しの意見を受け、関係規定を整備するもの。
— 原案可決 —

■上島町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正及び職員の通勤手当の見直しに伴い関係規定を整備するもの。
— 原案可決 —

■単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、関係規定を整備するもの。
— 原案可決 —

■上島町特別会計条例の一部を改正する条例

後期高齢者医療事業会計を新たに設置すること及び船舶事業会計を生名船舶事業会計、魚島船舶事業会計に分割するため、関係規定を整備するもの。

■上島町社会体育施設条例の一部を改正する条例

障害者基本法の改正に伴い、関係規定を整備するもの。

■上島町母子家庭医療費助成条例等の一部を改正する条例

健康保険法等の一部を改正する法律により、関係規定を整備するもの。

■上島町介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

介護保険事業の適正な運営を図るため、関係規定を整備するもの。

■上島町廃棄物の処理及び環境美化に関する条例の一部を改正する条例

ごみの収集・運搬、処理の一元化に伴い、指定ごみ袋等を改定するもの。

■上島町生名船舶使用料条例の一部を改正する条例

各種障害者の旅客運賃割引を変更するもの。

■上島町魚島船舶使用料条例の一部を改正する条例

各種障害者の旅客運賃割引の変更及び回数旅客運賃を新規導入するもの。

■上島町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

職員による下水道分担金等徴収事務怠慢により、町民の町政に対する信頼を損ねたことに關し、町長及び副町長の町政の責任者としての責任を明らかにするもの。

補正予算議案

■平成19年度上島町一般会計・特別会計（10会計）及び上水道事業会計補正予算（全13議案）

●一般会計（2議案）	【補正額】	6億3240万円
	【総額】	80億7820万円
●上水道事業会計	【補正額】	1億9818万円
	【総額】	4億5591万円
●特別会計（10会計）		

国民健康保険	補正額	1億2460万円
	総額	13億2000万円
老人保健	補正額	▲6600万円
	総額	13億7910万円
公共下水道	補正額	▲1530万円
	総額	6億3270万円
CATV	補正額	▲120万円
	総額	8200万円
農業集落排水	補正額	▲2680万円
	総額	1億3820万円

その他議案

■上島町特定環境保全公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する協定の一部変更について

【変更内容】委託協定事業費

変更前	1億4750万円
変更後	1億4670万円

●工事請負契約の締結について
●上町削漁港漁村再生交付金整備工事（分割の2）

【契約方法】指名競争入札
【契約金額】7297万5千円
【契約の相手方】

越智郡上島町弓削鎌田237番地
有限会社 小川工務店

代表取締役 小川 俊治

当初予算議案

■平成20年度上島町一般会計・特別会計予算について

平成20年度の各会計の当初予算額等は次のとおりです。

平成20年度 当初予算

前記のとおり、平成20年度上島町議会第1回定例会において、一般会計予算（町の主な収入・支出を総合的に管理する会計）と国民健康保険事業会計など18の特別会計予算等（特定の事業を特定の資金で運用する会計）が可決成立しました。

ここでは、特に町民の皆さんの生活に關連の深い一般会計の内訳等をお知らせします。
（次ページに掲載）

予算編成基本方針

前例踏襲主義を廃し、時代の流れを的確にとらえ「入りを計りて、出づるを制す」という予算編成の基本原則に則り、歳入についてはこれまで以上に町税等自主財源の確保に努め、歳出については歳入に見合った歳出を基本に、緊急性・重要性の高い事業を選択することにより「最小の経費で最大の効果」を上げることとして予算編成を行いました。